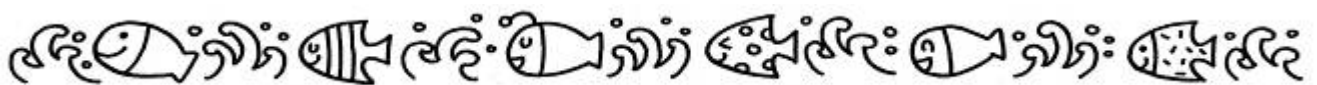


つぼみだより

平成21年 7月号
NO/4
中高生の部

夏休み目前！ 今年はどうな夏になるのだろうか？と夏休みを前にしてスタッフの意気込みは日に日に増してきています。去年の夏を思い出しながらあれこれと予定を立て、計画を練り直し・・・出来上がった予定表を見て更に気持ちを上げております。一つひとつの取り組みに意味を待たせながら、今年の夏が終わる頃にはどんな力を身に付けられているのを想像しながら、子供たちそれぞれの成長を願っております。

さあ、夏休みに 乗り込むぞ！



今月のすがた

中高生の部がスタートして3ヶ月が経ちました。最近では来所してくるとメンバー表（今日の利用児童の顔写真が貼ってあるものです。）を確認して、本日の活動とともに誰が来るかをみんな楽しみにしているようです。漬物の取り組みを通して“仲間”を意識することができるようになってきたことを実感しています。

6月に入り、中高生の部では新たな漬物作りにチャレンジしてきました。5月は浅漬け作りが中心でしたが、6月は野菜の味噌漬けを中心にらっきょう、梅干・・・など、多くの漬物を作りました。教えてもらった漬物がつぼみのオリジナルになるよう、自分たちの物にできるよう毎日子どもたちは意欲的に取り組んでいます。更に買い物をして漬物を作り販売するという一週間の流れも子どもたちの生活リズムとして身に付いてきました。商品としては全てが未完成品です。これからもっともっとクオリティーを上げるよう努力していきます。

6月に作った漬物は、どれも匂いが独特？なものばかりで毎日部屋中に匂いが広がっていました。特にらっきょうを漬ける甘酢を煮る時や、味噌漬けの味噌と酒粕をこねる時は自然と無口になる子どもたち（笑）・・・しかし誰も取り組みをやめることなく、これがどんな味の漬物になっていくのか、苦手な匂いでも興味はあるようでみんな渋い顔をして参加していました。

販売までの工程の中で苦戦したことは・・・袋詰めです。らっきょうはべたべたする・梅干は潰れないように持つ・味噌の柔らかさなど、それぞれの感触を感じながら



ながら服や手が汚れることも気にせずに取り組む姿は、『働くとは』という意識の成長につながっていくと思います。5月の浅漬けは袋に合わせて切って製作したペットボトルのスコップを使い袋詰めをしました。

そして今月は汁や味噌が袋の口についてべたつかないよう、何を使ったら入れやすく汚れないか・・・たどり着いたのがヨーグルトの空きカップ。底を丸く切り、細い方を上に袋を被せて漬物を入





れて下から取ることにより汚れにくく、新たに袋をカップに被せる係を取り入れました。

漬物の取り組みが始まり、多くの課題も見つかりました。量りの増減の仕組みの理解が難しかったり、片手に袋・片手で入れる作業が難しかったり・・・これからどうしたらできるようになるか？と考えていると子ども同士で「こうしたらやりやすいよ」と自分で見つけ出した方法を教えあい、“仲間”からのアドバイスを受けて新たな方法を試して取り組む姿が見られるようになりました。これから始まる夏休み！夏休みに新しい漬物・新しい販売の仕方を考えています。

Kのひとこと

社団法人光陽福祉会になり、1ヶ月が経過しました。この間、事務手続きや、行政への移行申請等、目まぐるしく忙しい日々。そんな日々を現場で支えてくれる職員がいる。

我が法人の「生き字引き」が中村先生。中高生の部での漬物。学童の部での五平餅の味付けから現場職員の味覚指導。調理指導を行なう。隠れたドンだ。

年齢は、言えないが、かなりなもので、でも、パワフルさは、古田センター長をうならすものがある。赤いつぼみTシャツがトレンドマーク。職員の悩みを聞いて、職員間の人間関係の調整をするのも「ドン先生」の仕事だ。

ある日の会話。古田センター長「漬物の味、これでいいですか？」「私は良いと思うけど・・・」ドン先生「なるほどいいね。いいね。」と言いながら、塩を追加するドン先生。確かに私が食べても、うすかった。ドン先生の優しい気遣いで、この日も紛争は起きなかった。しかし、古田センター長の味覚は・・・

我が法人のドンは今日も紛争を抑えるべく職員間の中に入り、気持ちよく子どもを迎えられる環境整備に努めています。(今回から“K”から見た職員紹介をしていきます)

お願い

サポートセンターつぼみの中高生の部、2期生を募集しています。説明会や面接でお話させていただいてる様に、サポートセンターつぼみでは「自立」そして「就労」を目指しています。その取り組みに賛同して下さった方々が利用者及び保護者の方たちだと思っております。つぼみがNPO法人から一般社団法人光陽福祉会と変更したのも、NPO法人で福祉事業をいくつもやっても自立、就労が見えてこない。企業との連携、企業へのアプローチを考えると一般社団法人つまり民間である必要があったのです。これからのつぼみは企業とタイアップに力を入れていき、早い段階からの企業実習の取り組みを行なっていきたいと考えています。企業に頭を下げるのではなく、お互いがパートナーでありお互いにメリットがある新しい形の企業提携の実現に向けて菊池局長が話しをしています。ここ数ヶ月の間にはどのような形で企業と連携していくのかお話できると思います。現在の漬物作りが就労に結びつくのか？ではなく、毎日同じ事を繰り返すことが働くという事であると考え一週間のスパンでの取り組みで活動しています。毎日の繰り返しこそ難しく、そして大事な事だからです。つぼみの活動を紹介したちらしを作成しました。そのちらしを知り合いの方・同じ学校の方などに配布をお願いしたいと思います。より多くの方につぼみのことを知っていただけるようご協力をお願いします。

